

2017年度立命館学校教育研究会総会・春季大会 報告

■総会

立命館大学衣笠キャンパスの学而館において、2017年度立命館学校教育研究会総会を開催いたしました。総会では、2016年度事業報告と2017年度活動計画、また2017-2018年度の運営委員新体制について提案があり、いずれも拍手をもって承認されました。承認後、児玉敏男新会長からの所信表明では、立命館学校教育研究会の企画を通じて、研鑽を深めていただくことはもちろん、ぜひネットワーク作りに活用して欲しいといった想いが述べられました。



■春季大会

今年度は、「スマホ時代の子どもたちのために」をテーマとして、近年深刻化しているネットいじめやスマホ依存の問題への対応について、兵庫県立大学の竹内和雄准教授を講師としてお招きし、ご講演をいただきました。

冒頭から実演も交えながら、スマートフォンやニンテンドー3DSなど、現代の子どもたちが手にする機器が持つ様々な最新機能について紹介され、参加者からは驚きの声が上がっていました。その上で、日々変化する新しいツールを悪用した事件や、それらを利用することで思いがけず児童・生徒が当事者となってしまったトラブルの事例などが紹介され、なぜこのような問題が発生してしまったのか、こういったトラブルから子どもたちを守るために大人はどうしていくべきなのか、わかりやすくお話をいただきました。

当日は、教職課程を履修する学部生、本学教職研究科(教職大学院)院生、現職教員など約80名の参加があり、竹内先生のお話に熱心に耳を傾けていました。参加者からは、「知らない事ばかりだったが、明日からの仕事に活かすことができる内容が多く大変勉強になった」「自分の世代ならまだネット世代については理解しているつもりだったが、今の小中高生はさらに時代が違うと感じた」「具体的な対応事例も学ぶことができたので、今後実践していこうと思います」といった意見が寄せられ、参加者の満足度の高さを伺い知ることができました。



講演会の最後には、岡本真一副会長、崎野隆顧問から総括的なコメントをいただき、盛会のうちに講演会は終了しました。

また、講演会後には、校種別に分かれての意見交換会(分科会)を開催しました。直前の講演会を受けて、勤務校での対応事例や現在抱えている課題などについて、参加者同士が自由に意見交換を行うことを通して、新たなネットワークを構築されていました。